

1 沿 革

| | |
|--------------|--|
| 昭和 39 年 10 月 | 公害課の 1 係として、旧衛生研究所建物（横浜市南区中村町）に検査測定係を設置 |
| 昭和 43 年 4 月 | 検査測定係を母体として公害センターを新設し、企画普及課、大気課、水質課、騒音課の 4 課 20 名で発足 |
| 昭和 45 年 7 月 | 従来行政機関であったものを研究機関に改め、企画普及課、大気科、水質科、騒音科とし、同月に特定有害物質、重金属を担当する特殊物質科を新設 |
| 昭和 45 年 10 月 | 川崎支所を県工業試験所川崎支所内に、湘南支所を寒川町の県企業庁水源事務所内に、それぞれ設置 |
| 昭和 47 年 1 月 | 本所、各支所の新庁舎建設に着手していたが、湘南支所の庁舎が平塚市豊原町に完成 |
| 昭和 47 年 3 月 | 本所の移転拡充が衛生研究所の拡充と同時に進められ、横浜市旭区二俣川に新庁舎が完成、同年 5 月から業務開始 |
| 昭和 47 年 4 月 | 川崎支所を京浜支所と改称。大気部、水質部の部制をしき、企画普及課を管理課、騒音科を騒音振動科と改称 |
| 昭和 47 年 5 月 | 本所を横浜市旭区二俣川に移設し業務開始 |
| 昭和 47 年 11 月 | 京浜支所庁舎が同敷地内に完成 |
| 昭和 48 年 7 月 | 研究業務の企画調整、普及指導業務の強化を図るため企画指導室を新設 京浜支所に大気科を、湘南支所に大気科と水質科をそれぞれ設置 |
| 昭和 49 年 8 月 | 京浜支所及び湘南支所に管理課を設置 |
| 昭和 56 年 6 月 | 京浜支所を特殊環境部（川崎駐在）、同所の大気科を特殊環境科とし、管理課を本所管理課に統合 |
| 平成 3 年 4 月 | 公害センターを、環境科学センターとして改組し現在地で発足 従来の川崎駐在事務所、湘南支所、大気汚染監視センター（本庁）及び廃棄物研究部門（衛生研究所）を統合拡充するとともに、県民の環境学習のための施設等を整備。 |
| 平成 3 年 7 月 | 落成式 環境学習施設、環境情報監視システム本格稼働 |
| 平成 13 年 3 月 | 環境科学センターの地下 1 階に、ダイオキシン分析施設を整備 |
| 平成 14 年 1 月 | 環境学習施設の一部を改修し、新たに実習室を整備 |
| 平成 15 年 6 月 | 1 課 5 部の組織を 1 課 4 部（管理課、企画部、環境保全部、環境技術部、情報交流部）へ再編 |

2 運営概要

2.1 所在地

〒 254-0014 平塚市四之宮 1 丁目 3 番 3 9 号
電 話 0463(24)3311
F A X 0463(24)3300

2.2 敷地及び建物

| | | |
|-----|-------------|---|
| 敷 地 | 敷地面積 | 4,218.28 m ² (H7.2.10 995.12 m ² 増) |
| 建 物 | 延床面積 | 7,098.10 m ² |
| 本館棟 | 鉄骨鉄筋コンクリート造 | 地下 1 階、地上 4 階 7,048.80 m ² |
| 付属棟 | 鉄筋コンクリート造 | 地上 1 階 49.30 m ² |